



中学校で11年続く防災キャンプ



J:COM地域取材ノート
2026年8月14日 12:00

蓮田市の黒浜西中学校で、今年も「防災キャンプ」が開催されました。

J:COM安心安全チームの成田です。

11年続くこの取り組みはコロナ禍の困難を乗り越え、形を変えながらも次世代へ「命を守る知恵」をつなぎ続けています。

▼ 目次

11年続く「防災キャンプ」への想い

デマに惑わされないための知識

水だけで作れる非常食

避難所で頼りになる中学生

11年続く「防災キャンプ」への想い

この取り組みは、災害時に子どもたちが自らの命を守り、家族を支える意識を高めるために始められました。参加者は黒浜西中学校の生徒を対象に募集、希望があった1年生から3年生の生徒25人が、今年の防災キャンプに参加しました。

運営を担うのは、黒浜西中学校PTA・防災部の皆さんです。「自分たちの子どものために、親自身ができることを考えて実践していこう」という願いが活動の原動力になっています。



コロナ禍になってからは以前のような宿泊形式は中断していますが、「いつか再び宿泊での取り組みを復活させたい」という強い思いから、あえて「キャンプ」という名称を使い続けているそうです。

デマに惑わされないための知識

岩槻警察署による「災害時のデマ」に関する講話が行われました。



災害時は不確かな情報が混乱を招くことが多いため、デマがもたらす悪影響や、情報を見極めるためのポイントをスライドを使って解説。

生徒たちは真実を見抜く難しさと大切さを学んでいました。

水だけで作れる非常食

防災食品メーカーの協力のもと、お湯がなくても水だけで作れる非常食についても学びました。メーカー担当者からは「夏場なら水を入れてから40分ほどで美味しく食べられる」といった、季節に合わせた具体的なアドバイスも！（私は知らなかった豆知識でした！！）

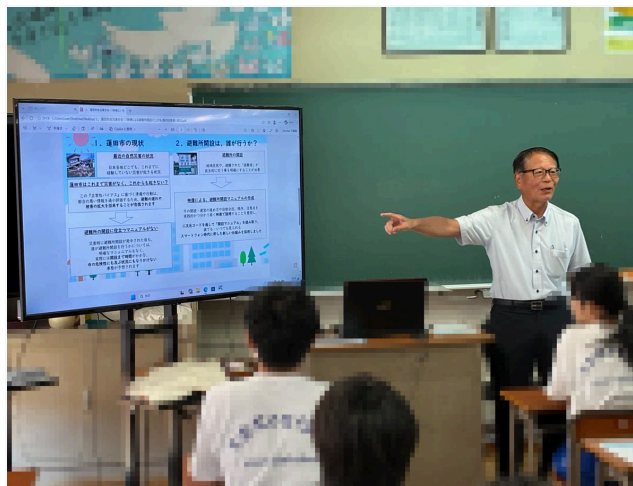


生徒たちは袋の中に慎重に水を注ぎ入れ、味が均一になるようにしっかりと混ぜるなど、実際の調理工程を体験しました。



避難所で頼りになる中学生

最後に、蓮田市自治連合会が制作した「映像による避難所開設マニュアル」の動画の視聴が行われました。



黒浜西中学校は災害時に避難所となります。

過去の災害事例では、中学生が避難所で積極的に動き、大きな力となった例が数多くあります。「自分たちの学校が避難所になったとき、主体的に動ける存在になってほしい」という地域の大人たちの期待が込められています。



👉 「映像による避難所開設マニュアル」について詳しくは...

蓮田市自治連合会 – 共に支合う、地域共生社会の実現」に基づき、地域コミュニティの核となる自治会...

hasuda-jichirengoukai.jp

11年目を迎えた黒浜西中学校の防災キャンプ。

知識を蓄えた彼らが、将来大きな力となって活躍する姿こそ、この11年の歩みが目指してきた「安心の形」そのものなのではないでしょうか。

取材協力：蓮田市立黒浜西中学校PTA防災部、蓮田市立黒浜西中学校、蓮田市自治連合会

#毎日note #安心 #安全 #防災 #防災を日常に #防災いまでできること #みんなの防災ガイド #埼玉・群馬・仙台 #こども・幼児 #学生 #自治会の防災 #こどもへの防災教育 #非常食の知恵 #蓮田市 #中学生 #避難所運営 #PTA活動